



# ファッシー通信

2015年5月発行  
第3号

## — 主人公はあなたです —

子どもは子ども、あなたはあなた。  
みんなありのままの自分でいてほしい…。

いつの時代でも、制度が変わっても、地域や年齢や障がいに違いがあっても、みんな同じ。壁にぶつかり、悩み、時に苦しむこともあるでしょう。そんな中で、頑張っているあなたへ——  
自分を大切にしながら安心して笑顔で子どもと向き合ってください。  
そんな思いで活動しています。

## 平成26年度 家族支援事業部 実施報告

実施日	内容（開催地）	参加数			ファシリテーター数	備考
		会員	会員外	合計		
9/10(水)	ファシリテーター研修会（育成会2F会議室）				15	スキルアップのための研修会。
10/1(水)	ワークショップ（鴻巣市こどもデイサービスセンター）	2	3	5	4	1名入会。
10/24(金)	ファシリテーター養成講座（埼玉会館）	37	8	45		吉川かおり氏をお呼びしての養成講座。
1/28(水)	ワークショップ（埼玉県立狭山特別支援学校）	0	28	28	6	埼玉県立狭山特別支援学校PTAより依頼。
3/5(木)	研修会（本庄ひまわり親の会）	30	0	30	2	本庄親の会より依頼。

## 26年度を振り返って



今年度、埼玉県手をつなぐ育成会が公益社団法人になったことで、この一年間業務執行理事として家族支援事業部に関わりました。新井由加里部長のリーダーシップで、イキイキとした部の運営をおこない、和気あいあいとした雰囲気の中で活動が行われていました。障がいのある子の親となつてから、私たちは日々こどもの世話に明け暮れて、自分のことを後回しにしがちです。家族支援ワークショップは、今の自分の心の中に目を向けて、気づきを得て、明日への活力をもらえるとと思います。

10月に行われたファシリテーター養成講座は、吉川かおり氏を講師にお迎えして開催しました。会員以外の方も多く参加されていて、関心の高さがうかがわれました。今回受講された皆様が、県内各地でファシリテーターとして活躍していただけるよう、家族支援ワークショップ開催を予定している会からのお声掛けをお待ちしています。

業務執行理事 永井 陽子

## 目次

1 P・・・平成26年度実施報告  
26年度を振り返って

3 P・・・ワークショップ（鴻巣市こどもデイサービス）  
// （狭山特別支援学校）  
研修会（本庄ひまわり親の会）

2 P・・・ファシリテーター養成講座

4 P・・・想ひ ～きょうだい編～

# 10/24 (金) ファシリテーター養成講座 開催!

会場：埼玉会館 7A  
参加人数：44名  
(内非会員8名)

前回の養成講座から3年。既存のファシリテーターは改めての勉強のため、そして新規のファシリテーター育成のため、養成講座を開催しました。当日は、会員だけでなく地域の支援者、事業所の職員、保育士、支援学校教員の皆さまにもご参加いただき、好評のうちに終了しました!



講師：  
吉川かおり 氏  
(明星大学人文学部  
福祉実践学科 教授)



導入ワークで  
緊張をほぐします。



吉川氏の事例を交えた  
お話に終始和やかな雰囲気。

## ★ タイムスケジュール ★

- 10:05 ワークショップの目的とルール
- 10:15 なりきり他己紹介
- 10:30 学習テーマ1「家族にも支援が必要です」
- 11:10 親子関係チェックシート1・2
- 11:50 分かち合い・終わりのワーク
- 12:00 ～昼食懇談会～
- 12:45 心理的距離の取り方のヒント  
あなたの夢プラン
- 13:25 どんな気持ちもあっていい
- 13:50 学習テーマ2「自分自身の気持ちを見つめることは大事です」  
学習テーマ3「ライフプランづくりのススメ」
- 14:20 ファシリテーターの役割、  
ワークショップの進め方
- 15:00 終了

## ～養成講座に参加して～

貴重な勉強会に参加させて頂きありがとうございました。

グループワークで同じグループになった支援学校の先生・就学前の障害児の保育園の先生、一般保育園の先生方がとても熱心で、前向きな気持ちになれました。

二人一組になり、相手の自己紹介をする時間の長さに冷や汗を感じました(-\_-)!!皆さんの記憶力に感動しました。

先生の講義が楽しくワークショップの必要性を実感できましたとともに、ファシリテーターの役割、必要性も理解することができました。

障害児者の親として、一人で悩まず共に共感できる場が必要であり、ワークショップの開催を待ち望んでいる方がたくさんいると思います。

初めての参加でしたが、開催者・参加者の熱い思いを感じ、何か出来ることがあれば、また参加したいと思いました。

一般参加者 田中ひろみ (ケアマネージャー)

ファシリテーター養成講座を、また、受講したいと思っていたのでとても嬉しく参加しました。他の受講者の顔ぶれは、そうそうたるものでこんな方々がファシリテーターなら安心と思えました。私もそんな風に思ってもらえるファシリテーターになれるでしょうか。

長島

## 10/1 (水) ワークショップ (鴻巣市こどもデイサービスセンター)



コーヒーを飲みながら少人数でアットホームな時間でした(^o^)



10月1日鴻巣市こどもデイサービスセンターにて「家族支援ワークショップ」が開催されました。今回は学齢期以下のお子さんのご家族ということで、5人のお母さんが参加してくださいました。皆さん初めての体験で初めは緊張もあったようですが、自己紹介ゲームでリラックスしていただき、学習テーマ点検ワーク終わりのワークと進行する間にたくさんの気づきと想いを、話していただき終了しました。

終了後、参加して下さった方の表情がホッとされている様子を感じ少しだけお手伝いできたのかと、感じられました。

山崎

## 1/28 (水) ワークショップ (埼玉県立狭山特別支援学校)

狭山親の会経由で依頼をいただき、狭山特別支援学校にてワークショップを開催しました。当日の参加者は28名、ファシリテーター6名でお手伝いに行きました。



### <アンケートより抜粋>

- ・改めて自分を見つめ直す時間になった。
- ・子供との関係を見直すいい機会になった。
- ・グループで学年を越えた話が出来てよかった。
- ・家族の再構築等を考え直してみようと思う。

## 3/5 (木) 研修会 (本庄ひまわり親の会@本庄市中央公民館)

本庄ひまわり親の会からの依頼により、研修会講師として新井・佐藤の2名が参加しました。当日は、会員さん約30名にご参加いただきました。

対面式での講師という形は初めてでした。話を挟みながらワークを体験してもらいましたが、参加者の皆さんには少し分かり難かったような気がしました。今度は本来のワークショップと一緒に体験し分かち合いたいと思いました。

新井



若いお母さん方からの要望により、研修会開催に至ったそうです。



私には入所施設で暮らす 6 歳下の自閉症の弟がいます。弟が 3 歳の時に母が病気で亡くなり、子供の頃はいつも家族一緒だったので出掛けたときは、弟がいなくならないように追いかけるのが私の役割でした。

私が 20 歳を過ぎたころに弟が施設に入所し、漠然と「この先どうなるんだろう」と思ったことがきっかけで、障がい者の“きょうだい”の集まりに参加してみました。すると、同じきょうだい仲間というだけで一気に壁が取っ払われとても楽な気持ちになり、「自分だけはないんだ」という心の支えが出来ました。普通に結婚し家庭をもって幸せに暮らしている仲間の姿は私にとっては希望になり、またいろいろなアドバイスのおかげで弟との付き合い方も随分楽になってきました。

そんな中、8 年前父が亡くなり、何もかも自分でやらなければいけない状況で、成年後見人になったりと本当に大変でしたが、その時もたくさん支えてもらってなんとか乗り切ることができました。

そして 3 年前にふとした出会いからトントン拍子にお話が進み結婚することになりました。いまは二人の娘にも恵まれて、育児に追われ弟のところへはこれまでのようにはいけなくなりましたが、主人も弟のことを大切に思って気にかけてくれて、可能な限り家族で会いに行ったり外泊したりしています。

まず自分が幸せになって心にゆとりがないと、障がいのある本人を支えることはできません。これからまたどんな壁にぶつかるかわかりませんが、きょうだい仲間や主人に支えてもらいながら、自分の人生を大切にしつつ、共に幸せに暮らしていければいいなと思っています。

おわり

★お気軽にお声がけください★

会員外  
でも  
OK!

私たちファッシー隊がワークショップ企画、  
ファシリテーターの派遣などお手伝いします。  
(特別支援学校・地域の支援学級・デイケア施設  
児童デイ等の PTA や保護者会の研修 等)

少人数  
でも  
喜んで

家族支援事業部メンバー 通称『ファッシー隊』 ※27 年度よりメンバーが少し変わりました!

高野 淑恵 (越谷)・新井 由加里 (鴻巣)・佐藤 早苗 (熊谷)・長島 幸枝 (北本)  
山崎 久美江 (鴻巣)・本橋 幸太郎 (所沢)

【連絡先】 公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-15-3 母子福祉会館内

Tel:048-833-0444 fax:048-833-0400 Mail:saitama@ikuseikai.jp

